

英語活動学習指導案

令和元年10月8日（火曜日） 第5校時 3年1組（イングリッシュルーム）

- 1 題材名 インタビューを楽しもう
単元名 Unit5 What do you like? (文部科学省 Let's Try1)

2 考察

(1) 教材観

①学習内容：学習指導要領上の位置付け

- ・ 1 (2) イ「自分のことや身の回りの物について、動作を交えながら、自分の考えや気持ちなどを、簡単な語句や基本的な表現を用いて伝え合うようにする。」
- ・ 2 (1) ア「言語を用いて主体的にコミュニケーションを図ることの楽しさや大切さを知ること。」
(2) ア「自分のことや身近で簡単な事柄について、簡単な語句や基本的な表現を使って、相手に配慮しながら、伝え合うこと。」

②主に伸ばしたい資質・能力

- ・ 何が好きかを尋ねたり答えたりして、相手に配慮して伝え合う力。
- ・ 何が好きかを尋ねたり答えたりする表現への慣れ親しみ。

③そのために必要な指導・学習活動

・つかむ過程

本単元の課題を知り、そこで扱われる語句や表現に音声で慣れ親しむ活動。

尋ねたり答えたりする表現（何が好きかを尋ねる表現、食べ物、フルーツ、スポーツ）を音声で聞いた
り、発音された語に反応したりするゲーム的活動（おはじきゲーム等）。

・追究する過程

何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ活動。

自分が選択したカテゴリー（ゲームやアニメなど）の語句に慣れ親しむ活動。

デジタル教材や教師のモデルを参考に、教師に何が好きかを尋ねたり答えたりする活動。

・まとめる過程

追究する過程で慣れ親しんだ語や表現を活用し、友だちに尋ねたり答えたりする活動。

(2) 児童生徒の実態及び指導方針（男子9名 女子9名 計18名（特別支援児童1名））

①既習の学習内容や活動

- ・ 今までの単元でもつかむ過程でチャンツやALTの英語の音声を十分に聞かせ、新出表現や英語と日本語の音声の違いに気付かせてきた。また、HRTとALTのコミュニケーションのモデルを見せ、児童が目指すゴールをイメージできるようにしてきた。追究する過程では、新出表現に慣れ親しむ活動を行ってきた。
- ・ 挨拶や気分を尋ねたり答えたりする単元では、ジェスチャーから気分を読み取るゲームや友だちと気分を伝え合う活動を行ってきた。
- ・ 数を聞き合う単元では、クラブの数を答えたり、英語を聞き取ってビンゴゲームをしたりして、数に慣れ親しんできた。
- ・ 好きなものを尋ね合う単元では、色や食べ物、スポーツのカテゴリーから自分が本当に好きなものを友だちに伝え、友だちと自分の好きなものが同じかどうかを比べる活動を行ってきた。
- ・ 教科横断的な視点として、3年生の国語では、「つたえよう、楽しい学校生活」という単元で、インタビューとは何か、インタビューをするときの注意点等についての学習を行ってきた。

②本単元に関わる児童生徒の実態

- ・ ほとんどの児童が英語活動を楽しみにしている。英語での質問に対して、自分の考えを伝えたり相手に反応したりすることが好きな児童が多い。一方で、うまく伝えられない児童もいる。その要因として、表現への慣れ親しみが不十分なため、自信をもてずにいると考える。そこで、飽きずに何度も表現に慣れ親しむ活動を取り入れ、追究する段階では、個々の児童をよく見取り、自信をもって伝えられるよう支援していきたい。また、伝え合う時に、相手を意識して行うことができない児童がいる。その要因として、普段の生活の中では、相手を意識して伝え合う体験が少ないからと考える。そこで、国語科の学

習と関連づけて、インタビューで大事なことを想起させ、「相手への配慮」を具体的に3つの「やりとりのポイント（聞きやすい声、笑顔、相手の目を見る）」として、意識できるようにする。さらに、「やりとりのポイント」を意識してコミュニケーションをとることの心地よさを体験的に捉えさせながら、相手に配慮して伝え合う力を育成したいと考える。

③指導方針

〈单元全体を通して〉

- ・友だちと楽しく交流をさせるために、積極的にコミュニケーションをとっている児童や「やりとりのポイント」を意識して取り組んでいる児童を称賛する。
- ・「何が好きか」を尋ねる表現に十分慣れ親しませるために、デジタル教材のチャンツに楽しく取り組めるようにする。
- ・実態にあった手立てや支援ができるようにするために、児童の取組状況を的確に見取る。

〈つかむ過程〉

- ・アナウンサーが有名人にマイクを持ってインタビューする場面設定をすることで、インタビュー活動への意欲付けを図る。
- ・相手に配慮してインタビューができるようにするために、国語科の学習と関連付けてインタビューをするときに大事なことを想起させ、「やりとりのポイント」を児童から引き出せるようにする。
- ・もっと周りの友だちのことを知りたいと思う学級の雰囲気作りをすることで、友だちと何が好きかを伝え合う目的をもてるようにする。
- ・児童に活動の見通しをもたせるために、教師のモデルを示す。
- ・「～は好きですか」と尋ねる表現と「何が好きか」と尋ねる表現の違いに気付けるようにするために、教師のモデルやデジタル教材を繰り返し聞かせる。

〈追究する過程〉

- ・何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませるために、デジタル教材の音声に何度も触れさせる。
- ・今までに学習してきた語句を活用できるようにするために、教師に何が好きかを尋ねたり答えたりする活動を繰り返し行い、自信をもたせる。
- ・相手に配慮してインタビューを行えるようにするために、「やりとりのポイント」を意識して取り組んでいる児童の見本を見せ、相手に配慮したインタビューの仕方を具体的にイメージさせる。
- ・HRTとALTとで相手への配慮のない悪いモデルを示し、比較させることで、「やりとりのポイント」を意識してコミュニケーションをとることのよさに気づけるようにする。
- ・まとめる過程で自信をもってインタビューができるようにするために、自分が友達に聞いてみたいカテゴリー（ゲームやアニメなど）の語句を繰り返し行い、表現に慣れ親しませる。

〈まとめる過程〉

- ・インタビューのやりとりの流れを児童が視覚的に捉えることができるように、場面絵を活用する。
- ・今までの学習で示してきた「やりとりのポイント」を意識させるために、実践できている児童を見本で見せる（中間発表）。
- ・英語での活動に対して戸惑いが見られる児童も楽しく活動ができるようにするために、そばに寄り添い、一緒に活動したりやり方を説明したりする。

3 校内研修とのかかわり

目標「自分の考えや思いを表現できる児童の育成」

本校では、自分の考えや思いを表現できる児童の育成のために、相手意識を高めさせる活動の工夫を行っている。

そのため本单元では、HRTとALTでデモンストレーションを行い、「相手が聞き取りやすい声の大きさに気をつけられたか」「笑顔で相手の目を見ていたか」など、相手意識をもてるようにする。また、必要感のある場面で、コミュニケーションがとれるようにするために、単元の導入で、もっと周りの友だちのことを知りたいという状況から、友だちは何が好きかを知るという目的でインタビューを行うようにする。

4 評価規準及び指導の計画概要

評価規準	言語や文化に関する気付き	・何が好きか尋ねたり答えたりする表現に気付いている。				
	外国語への慣れ親しみ	・何が好きか尋ねる表現に慣れ親しんでいる。				
	コミュニケーションへの関心・意欲・態度	・相手に配慮しながら、何が好きかを尋ねたり答えたりして伝えようとしている。 ・相手に何が好きかを尋ねながら、交流を楽しんでいる。				
〔単元の目標〕 インタビュー活動を通して、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しみ、相手に配慮しながら、交流を楽しんでいる。						
学習過程	時	○ねらい ・学習活動	指導上の留意点	評価の観点		
				コ	慣	気
つかむ	1	○単元のゴールを知り、何が好きかを尋ねたり答えたりする表し方に気付く。 ・教師のモデルから、単元のゴールを知り、見通しをもつ。 ・チャンツで何が好きかを尋ねたり答えたりする表現を知る。 ・教材の語句を何度も聞いたり、言ったりし、語句の言い方に気付く。	・何が好きか尋ねるたり答えたりする表現に気付くために、教師のモデルやデジタル教材を繰り返し聞かせる。 ・相手に配慮してインタビューができるようにするために、国語科の学習と関連付けてインタビューをするときの「やりとりのポイント」を想起させる。			○
追究する	2	○何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・デジタル教材やステレオゲームを行い、何が好きかを尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しむ。 ・今まで学習してきた語句を活用し、何が好きかを尋ねたり答えたりする。	・デジタル教材の音声に何度も触れさせる。 ・今まで慣れ親しんできた語句を実際にステレオゲームで活用し、尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しませる。		○	
	3	○何が好きか尋ねたり答えたりする表現や友だちに聞いてみたいゲームやアニメなどを表す語句に慣れ親しむ。 ・友だちに聞いてみたいカテゴリーの語句に慣れ親しむ。 ・先生にインタビューをする。	・教師に何が好きかを尋ねたり答えたりする活動を繰り返し行い、インタビューすることに自信をもたせる。 ・飽きずに友だちに聞いてみたいカテゴリーの語句に慣れ親しませるために、歌のリズムに合わせて繰り返し行う。		○	
まとめる	4 (本時)	○相手に配慮しながら、何が好きなのかを伝え合い交流を楽しむ。 ・友だちに聞いてみたいことについてインタビューゲームをする。	・今までの学習で示してきた「やりとりのポイント」を意識させるために、ポイントを押さえて取り組んでいる児童を見本で見せる。	○		

5 本時の学習 (4/4)

(1) ねらい 相手に配慮しながら、何が好きなのかを伝え合い、交流を楽しむ

<p>【本時の視点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習活動に「インタビューごっこ」の要素を取り入れて場面設定をしたことは、児童が活動に興味をもって、相手に配慮しながら交流を楽しむことに有効であったか。

(2) 人権教育の視点

しっかり聞いて、わかりやすく話す。[技能]

(3) 準備 タブレット・おもちゃのマイク（18本）・ワークシート

(4) 展開

学習活動 ○予想される児童の反応	時間	支援及び指導上の留意点 ◇評価	
		HRT	ALT
<p><学習課題の把握></p> <p>1 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> <p>H: Hello,everyone. 児童： Hello,Ms.Hayashi. A: Hello,everyone. 児童： Hello,Ms.MaryAnn. A: How are you? 児童： I'm happy.</p> </div> <p>2 チャンツ (What do you like?) をする。</p> <p>3 本時のめあてをつかむ。 ○好きなものを言っていた。 ○何のアニメが好きか聞いていた。 ○インタビューをしていた。 ○目を見ていた。 ○笑顔で聞いていた。 ○聞きやすい声だった。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>「やりとりのポイント」</p> <p>① 相手の目を見る ② 笑顔 ③ 相手が聞きやすい声</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>本時のめあて</p> <p>「やりとりのポイントを」意識して、インタビューを楽しもう。(仮)</p> </div>	7	<p>・笑顔で元気よく挨拶ができるようにするために、笑顔でジェスチャーを交えて行う。(HRT・ALT)</p> <p>・大きな声で元気よく歌えるようにするために、一緒に歌う。(HRT・ALT)</p> <p>・教師の実演から、これまでの学習を想起させる。(HRT・ALT)</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>H : Hello. A : Hello. H : I like Conan. What anime do you like? A : I like Chibi Maruko-chan. H : Oh,nice.Thank you. A : You're welcome.</p> </div> <p>・児童の発言から「やりとりのポイント」を再確認する。(HRT)</p> <p>・相手に配慮しながら活動に取り組みさせるために「やりとりのポイント」を意識させる。(HRT)</p> <p>・児童が自ら学ぶ意欲を高められるようにするために、児童とやりとりをしながら、児童のことばを使って、めあてを提示する。(HRT)</p>	
<p><課題の追究></p> <p>4 インタビューで使う表現の練習をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>Q : What ~ do you like? A : I like ~.</p> </div>		<p>・インタビューのやりとりの流れを児童が視覚的に捉えることができるように、場面絵を提示する。(HRT・ALT)</p> <p>・前時までに慣れ親しんだ表現を言えるようにするために、初めはクラス全体、次にインタビューする側とインタビューを受ける側に分けて数回繰り返す。(HRT・ALT)</p>	

<p>5 インタビューする人と答える人に分かれ、インタビューを行う。 ・2つのグループに分かれて行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>S1 : Hello.I'm Hitomi. S2 : Hello.I'm MaryAnn. S1 : I like Mario. What game do you like? S2 : I like Splatoon. S1 : Good.Thank you. S2 : You're welcome.</p> </div> <p>○何を言ったらよいのか分からず戸惑う。 ○「やりとりのポイント」が押さえられていない。</p> <p>・再度、インタビューに取り組む</p>	28	<ul style="list-style-type: none"> ・インタビューのやり方を理解させるために、デモンストラーションを行う。(HRT・ALT) ・尋ねる側も答える側も両方できるようにするために、時間で区切って行わせる。(HRT) ・本時のねらいに向かう児童の姿を捉えることができるように、教室全体を掌握できるようにする。(HRT) ・戸惑いが見られる児童も楽しく活動ができるようにするために、そばに寄り添い、声をかけ、活動を促す。(HRT・ALT) ・やりとりのポイントを意識してできている児童を見本で見せ、よさをクラスで共有できるようにする。【中間発表】(HRT) <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◇【コ】相手に配慮しながら、何が好きかを伝え合っている。(行動観察)</p> </div>
<p><本時のまとめ> 6 本時及び単元の学習を振り返る。 ・振り返りカードに振り返りを書く。 7 挨拶をする。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>☆「What～ do you like?」と何が好きかを聞いたり、「I like～」で自分の好きなものを答えたりできた。【言語面】 ☆友達の顔を見て、インタビューできた。【言語面】 ☆インタビューをして友だちの好きなものや新しい一面を知れて楽しかった。【内容面】</p> </div>	10	<ul style="list-style-type: none"> ・本時及び本単元を通してでできるようになったことを想起させ、達成感をもてるようにする。(HRT) ・次回の学習につながるよう、元気に挨拶をさせる。(ALT)

6 板書計画

<p>Goal 「やりとりのポイントを」意識して、インタビューを楽しもう。</p>	<p>「やりとりのポイント」</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 相手の目を見る ② 笑顔 ③ 相手が聞きやすい声
<div style="display: flex; justify-content: space-around; margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">色</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">食べ物</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">果物</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">アニメ</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">ゲーム</div> <div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; width: 150px; height: 100px; display: flex; align-items: center; justify-content: center;">テレビ</div> </div>	